

第 33 節 ペインクリニック科研修〔選択科向け研修〕

一般目標

- ① ペインクリニック科疾患の診断力を養い、患者診察の方法と診かたを習う。
- ② 基本的な神経ブロックの手技を習得する。
- ③ カンファランスにおける症例呈示を的確に行える。(画像診断、透視下造影の読影)
- ④ 病棟業務に精通し、指導医とともに病棟患者の管理を行う。
- ⑤ 簡単な透視下の神経ブロック・造影を経験する。
- ⑥ 2年次に於いては、高度な透視下の検査・神経ブロックを体得する。

具体的目標

1. 外来

- ① 指導医のもとでペインクリニック科疾患の診察方法・手技(簡単な)を学ぶ。

2. 病棟

- ① 指導医のもとで、診療および日常業務の習練を行う。

3. 検査処置

- ① 採血、静脈確保、救急処置法などの基本手技を学ぶ。
- ② 受け持ち患者の透視下の造影検査・神経ブロックについて、初め介助者として参加し、次いで自ら行えるようにし、その読影を行う。

4. レントゲンカンファランス

- ① 読影に参加し、症例の的確な提示と応答ができるようにする。

5. 抄読会

- ① 抄読会をおこない、最新の臨床に益する論文の紹介を行う。

6. 研究

- ① 症例報告などの学会発表を行うことを目標とする。

7. 注意

- ① 転科して手術を受ける患者や他科へ依頼しての検査(放射線科での脊髄造影、血管造影、整形外科での手術など)は、手術室や検査室に向いて見学するように努める。

実臨床研修

毎日の新患者について、カンファレンスを行い、診断、治療方針について検討する。

研修評価

超音波ガイド下神経ブロックの習得がペインクリニック医にとって重要であるため、同一症例について、描出画像を指導医、研修医との間で検討を行う。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	病棟回診、 外来、 透視室治療	病棟総回診、 外来、 透視室治療	病棟回診、 外来、 透視室治療	病棟回診、 外来、 透視室治療	病棟総回診、 外来、 透視室治療		
午後	外来、 入院患者透 視室治療、 新患カンファ レンス、 入院カンファ レンス	外来、入院患 者透視室治 療、 手術 新患カンファレ ンス	外来、入院患 者透視室治療 新患カンファレ ンス	外来、入院患者 透視室治療、手 術 新患カンファレン ス、入院カンファ レンス	外来、入院患 者透視室治 療、 手術、 新患カンファレ ンス		